

●技術情報

Q&A

[6] 作物別施用法（桑）

Q6-7-1 桑の肥料として使う場合の施肥時期、施用量、施肥法等どうしたらよいでしょうか？

A6-7-1 桑樹は栽培期間が長く採桑量も多いので、緩効性で流亡の少ない石灰窒素は肥効が高く、特にその連用がきわめて効果的です。

これは石灰窒素の特性がすべてプラスに働くことで、桑質・蚕歩合・収繭量にも良い影響をあたえるからです。

1. 使用時期

桑の肥料は冬肥、春肥、夏肥の3回に分けて施肥されますが、石灰窒素はその特性から冬肥と春肥が一番良いでしょう。

①冬肥：12月～1月ごろ。

②春肥：発芽1ヵ月ぐらい前。

2. 使い方

①畦間に溝を掘って石灰窒素を散布し土とよく混ぜる。

②畦間全面に石灰窒素を散布してから表土と混ぜる。

3. 使用量

石灰窒素10a当たり40～60kg。桑専用肥料も同時に施用して下さい。また、古くから土中堆肥をつくるのに使用されています。

晩秋蚕が終わった後、9月下旬～10月上旬、全面施肥し桑の生育がよくなった例があります。